

## 「1950年代教育史」研究部会（第25回）

日時：2018年4月27日（金）13:00～15:30

場所：野間教育研究所 2F 閲覧室

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 各兼任研究員  
金沢千秋・川上智子

欠席：吉久知延所長

内容：（1）鳥居和代研究員報告：「千葉県総合教育センターの所蔵資料について（2）—『基地周辺の子どもたち その一』（1957年）を読む—」

◆千葉県教育研究所発行『研究紀要』第35集（その一とあるが、その二の発行形跡なし）

・豊海と木更津の2地区を実験地区として選定

豊海：全国でも稀な高射砲演習場 木更津：かつて帝国海軍基地・当時県最大の航空基地  
→米軍基地と自衛隊基地は全国的にほぼ隣接している

・二つの地区の米軍との関係性の違い

豊海：演習場で常駐ではない 木更津：基地のため常駐

→風紀上は木更津のほうが影響大

今後、長欠児童問題にどこまで基地の問題を絡めていくか→「補論」の形で加える？

（2）西山伸研究員報告：「1950年代における大学管理をめぐって（1）」

◆複雑な経緯を辿った1940年代末～1950年代前半の大学管理をめぐるとの状況について事実関係および研究史を整理する

・1950年代前半、「待望論」があつたにもかかわらず大学管理法は成立せず

大学法試案要綱（1948-1949）

国立大学管理法案起草（1949-1951）

国立大学協会 大学管理規定案（1952-1954）

今後、研究史の確認 国会における議論の検討、個別大学の一次史料調査、各大学沿革史の調査、1960年代前半における大学管理論との関係をみていく

・次回研究会は、2018年6月1日（金）13:00～。大島研究員、米田研究員

・次回以降は、7月6日（金）13:30～。